



国立大学法人等のキャンパスを創造する 施設系技術職員



国立大学等施設担当部課長会

国立大学法人等とは

文部科学省所管の国立大学法人，大学共同利用機関法人，
独立行政法人国立高等専門学校機構 等

国立大学法人

- 全国に86ある国立大学が，それぞれ独立した法人格を持って運営されています。

大学共同利用機関法人

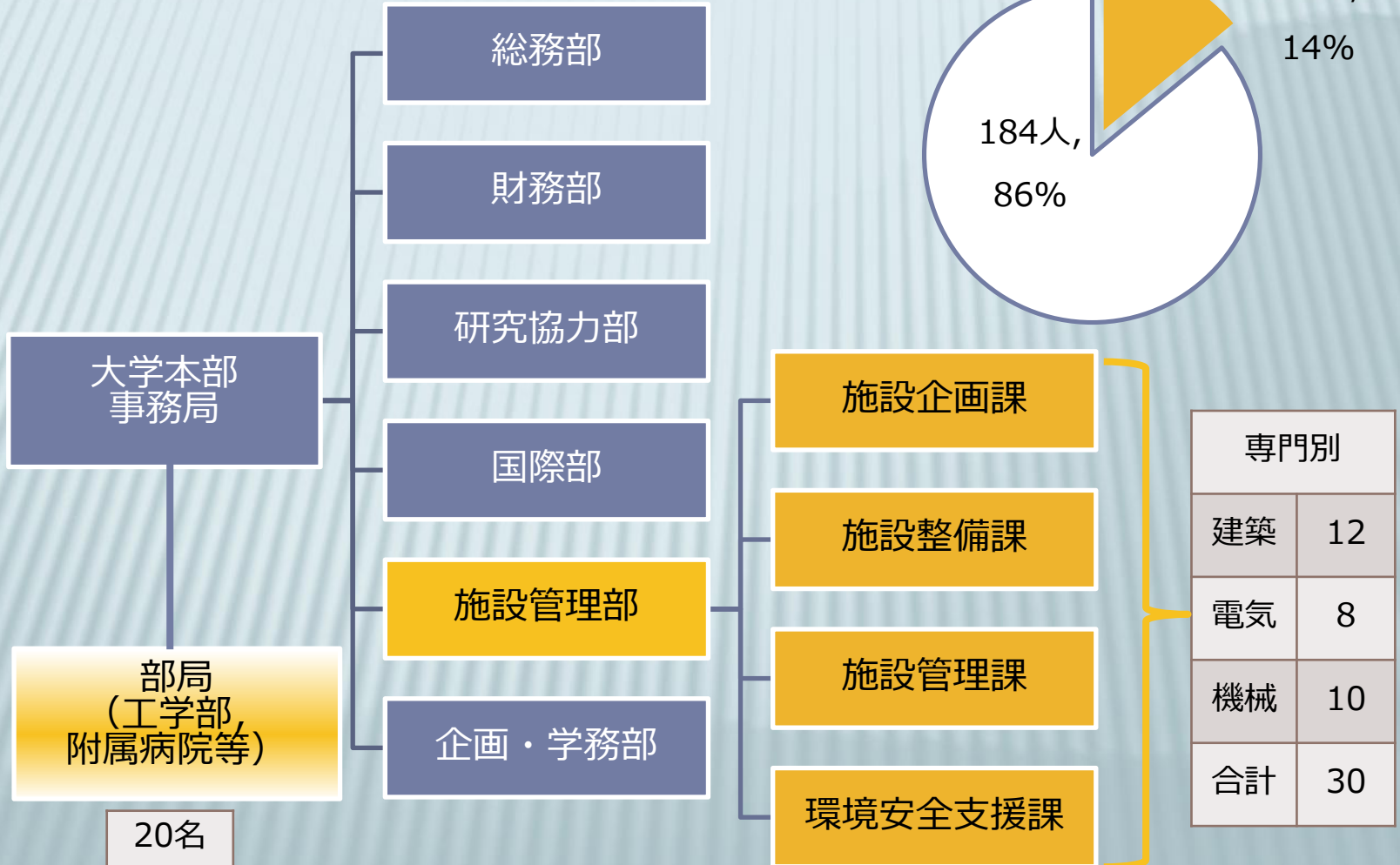
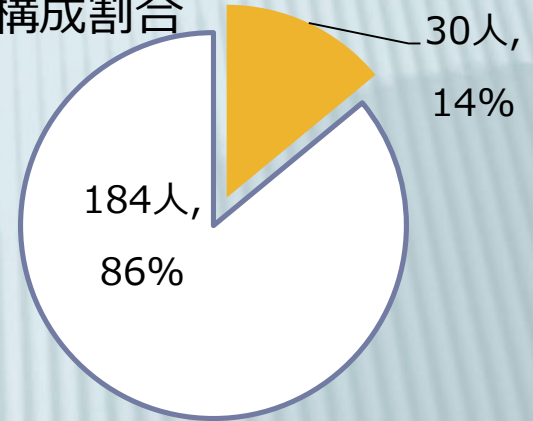
- 国内外の研究者に研究の場を提供し，先端的な共同研究を行う中核的研究拠点となっており，人間文化研究機構，自然科学研究機構，高エネルギー加速器研究機構，情報・システム研究機構の4つの機構が設置されています。

独立行政法人国立高等専門学校機構 等

- 独立行政法人国立高等専門学校機構は，全国に51ある国立の高等専門学校で構成されています。その他，22の機構が学校教育，社会教育，科学技術等の事業を実施しています。

施設系技術職員が所属する運営組織の例 (国立大学法人名古屋大学の例)

事務局での施設系技術職員の
構成割合



キャリアパス, 資格, 研修

職員の取得資格, 能力, 勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。
職名, 職階は各法人で異なります。

係員

主任

係長

課長
補佐

課長

部長

理事・
局長

取得資格

- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施工管理技士 など

研修制度

- 新規職員研修
- 係長研修
- 中堅職員研修
- 幹部職員研修
- 技術職員研修
- 語学研修, 会計研修
など

採用後に, 諸事情によって他の国立大学法人等に異動を希望する方については,
法人間で調整を図る仕組みがあります。

施設系技術職員の主な業務（1）

施設マネジメント

- 施設マネジメントとは、総合的かつ長期的視点に立って、施設を確保し活用するために行う一連の取組のことで、各国立大学法人で特色ある取り組みが推進されています。

キャンパスづくりの在り方[※]

- 既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるキャンパスに再生するとした「創造的再生」がキャンパスづくりの基本的考え方として示されています。

※「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～」報告書（概要）より
文部科学省 平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

企画・計画, 設計・監理

- キャンパスの長期計画の策定
- キャンパス整備に関する各種委員会等の運営
- 施設整備事業の計画・実施（基本設計, 実施設計 等）
- 都市計画, キャンパス計画に係る地域との連携
- 工事の入札・契約の実施
- 工事に係るコスト, 品質等の管理
- 建築・土木・設備に関する技術的事項への対応 等

施設系技術職員の主な業務（2）

保全管理

- 長期修繕実施計画の策定
- 施設の点検・評価及び資産価値の維持・向上
- 施設の保守点検・運転監視・修繕・緑地管理等に関する技術的事項への対応
- 施設・環境・インフラ維持保全・美化の実施
- 宿舎施設の管理運営 等

省エネ, 環境・安全

- 温暖化・省エネルギー対策の実施
- インフラ整備の企画立案
- 交通対策, 屋外環境整備及び廃棄物処理の実施
- 環境安全衛生管理活動の企画立案・把握・指導等
- 防火・防災及び関すること 等

施設系技術職員の主な業務（3） 長期計画から維持保全まで

長期計画

- キャンパスマスタープランの策定
- 中期目標・中期計画の策定
- アクションプラン, マニュアルの策定

工事監理

- 工程, 安全, 品質管理
- 定例会議の開催
- 各種検査の立会

計画

- 現地調査
- 関係官庁との協議・調整
- ユーザーヒアリング

完成

- 完成・引き渡し
- ユーザー満足度調査
- 省エネ等の達成目標調査

実施設計

- 基本設計書の作成
- 自前設計
- 設計コンサルタントとの調整

維持管理

- 定期点検・定期報告
- 予防保全計画の作成
- 修繕計画の作成, 実施

計画から完成までは数年。完成後は、建物を取り壊すまで、良好な状態に維持向上させていくことが施設系技術職員のミッションとなっています。

国立大学等の建物保有面積と必要予算

機関	保有面積(m ²)
国立大学法人	25,497,273
独立行政法人 大学共利用機関	727,877
独立行政法人 高等専門学校機構	1,694,397
合計	26,389,547

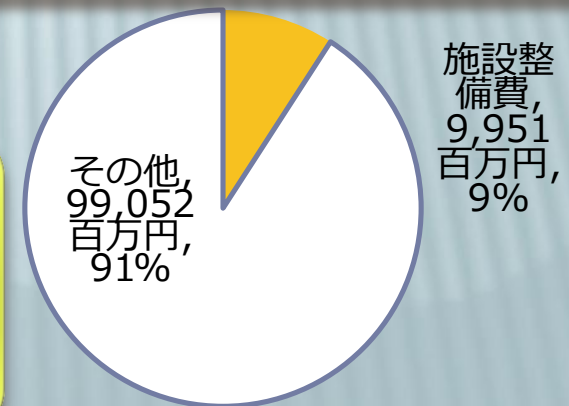
建物の新築，改修整備やインフラの更新等に必要な予算は平成27年度の概算要求ベースで約4千6百億円となっています。

また，建物の維持管理費に使用されている額は合計で約7百億円となっています。

合計の保有面積は，東京ドーム約564個分，東京ディズニーランド約33個分にあたります。

- 施設整備にかかる費用は，国立大学法人の支出に対して大きなウェイトを占めており，法人の運営に大きくかかわっています。
- 施設系技術職員は，専門的知識を駆使して経費節減や多様な財源を確保するなどして，大学法人等の運営に大きく貢献しています。

国立大学法人名古屋大学の支出の例
(H25年度決算)



キャンパス整備に対する声

国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会（平成25年3月27日）資料より
文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室

学生

- 「屋内の休憩スペースに不満を感じている。」
- 「キャンパスの印象は殺風景である。」
- 「広場、カフェ、食堂・売店を充実してほしい。」
- 「このキャンパスは人との出会いがあり、楽しい。」

教職員

- 「学生の居場所がない。」
- 「図書館機能にラーニングコモンズが必要。」
- 「駐車場確保が課題。」

連携企業

- 「地域の企業も教育資源として力になりたい。」

卒業生

- 「国や世代、企業・地域・大学間の壁を取り払い、徹底的にオープンで、多様な交流が生まれる環境を作してほしい。」
- 「人間形成は大学時代において大切なこと、大学からも学生に様々な出会い・つきあいの場を提供してほしい。」

行政

- 「セキュリティの問題はあるが、区の散歩コースにキャンパスも組み込み市民を招くとよいのでは。」「大学の持つシーズは不可欠、これからも産学官連携では、継続的協力を。」

周辺住民

- 「地域の高齢者の方は、学生と話す機会があるとうれしい。」「高校生や中学生が気軽に入れる場所になってほしい。」

施設系技術職員は、多種多様な方からの意見を大切にし、持続可能なキャンパスづくりを進めています。

施設系技術職員の採用について

試験区分	
事務系	事務
	図書
技術系	電気
	機械
	土木
	建築
	化学
	物理
	電子・情報
	資源工学
	農学
	林学
生物・生命科学	

施設系技術職員の試験区分

職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて採用を行っています。

試験は、各地区別で行っています。詳しくは、各地区採用試験事務室ホームページをご覧ください。電話、メール等でお問い合わせください。

各地区	電話	メール
北海道地区実施委員会	011-706-2018	saiyo@general.hokudai.ac.jp
東北地区実施委員会	022-217-5676	shiken@bureau.tohoku.ac.jp
関東甲信越地区実施委員会	03-5841-2769	shikenjimu@adm.u-tokyo.ac.jp
東海・北陸地区実施委員会	052-788-6053	shikenjimu@adm.nagoya-u.ac.jp
近畿地区実施委員会	075-753-2230	shiken@mail.adm.kyoto-u.ac.jp
中国・四国実施委員会	082-424-5616	shikenjimu@office.hiroshima-u.ac.jp
九州地区事務・技術系職員等人事委員会	092-642-4321	shikenjimu@jimu.kyushu-u.ac.jp